



トラフグ

主な漁業と漁期等

伊勢・三河湾系群

はえ縄:10月～翌年2月
漁獲対象:1歳魚以上

生態

●分布・回遊

静岡県で漁獲されるトラフグは、伊勢・三河湾系群に属します。この系群は、紀伊半島東岸から駿河湾沿岸域を主な生息域とし、標識放流の結果等から、他の海域の資源とは独立した一つの系群と考えられています。

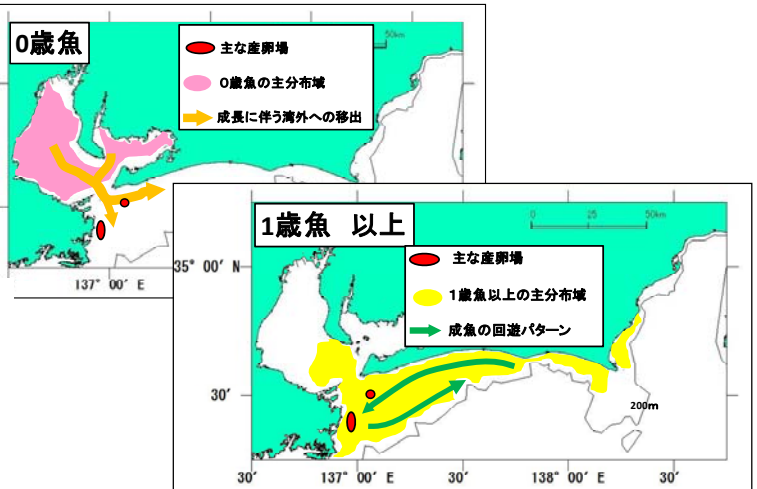
●年齢・成長

成長は早く、1歳で全長26cm、体重0.4kg、2歳で全長40cm、体重1.4kg、3歳で全長48cm、体重2.9kgに達します。寿命は6年程度と考えられています。

●産卵期・産卵場

産卵期は4～5月とみられ、成熟年齢は雄で2歳、雌で3歳です。

産卵場としては、底質の粒径が2mm以上の礫混じりの粗砂を選択的に利用しており、このような条件を備えた産卵場として、三重県安乗沖及び愛知県渥美外海（通称：出山）周辺水域が知られています。



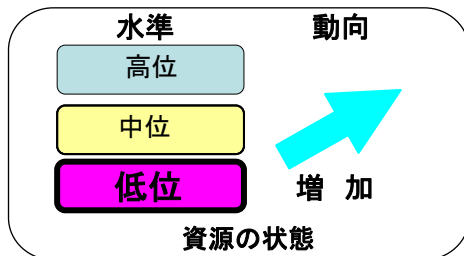
トラフグ伊勢・三河湾系群の分布・回遊 模式図

●生息場所・食性

ふ化仔魚は潮流により伊勢・三河湾内に運ばれ、干潟域や河口域で全長6cm前後まで成長します。その後、遠州灘や熊野灘などへ生息場所を広げていきます。食性は、仔魚後期までは主に動物プランクトン、稚魚期は小型甲殻類、未成魚期は各種幼魚や甲殻類、成魚期は甲殻類や魚類を好んで食べます。

漁業・資源動向

【資源】



- 2016年の資源評価によれば、伊勢・三河湾系群における資源水準は「低位」、動向は「増加」とされています。この系群は、不定期に発生する卓越年級群*により大きな資源変動を示します。
- また、現在の操業形態では、1歳までの未成魚時に多くが漁獲され、親資源となる個体は僅かと考えられています。

*:他の年に比べ特に発生量が多い年級群

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

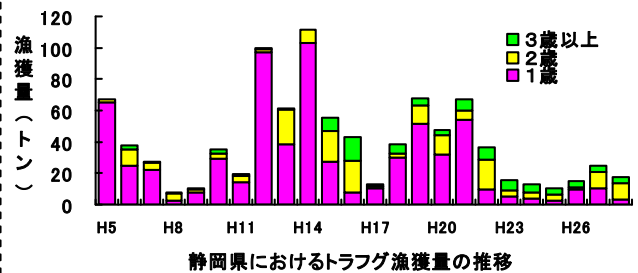
<http://abchan.fra.go.jp/digests28/html/2871.html>

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests28/details/2871.pdf>

【漁業】

- 静岡県では、10月～翌年2月に、主に遠州灘で1歳魚以上がはえ縄で漁獲されます。
- 平成5年漁期以降の県内漁獲量は、卓越年級群の発生による資源変動に伴い大きく変動し、10～120トンで推移しています。



静岡県におけるトラフグ漁獲量の推移

【種苗放流】

資源の底上げのため、同一資源を利用する3県の漁業者により、種苗放流が行われています。本県による放流尾数は、年間10万尾前後(全長4～5cm)です。

【資源管理】

資源保護のため、漁業者は小型魚(体重700g未満)は水揚げせずに放流する自主管理に取り組んでいます。

担当者の一言:トラフグは、主に冬場に刺身や鍋物で賞味される高級魚です。

問合せ先

静岡県水産技術研究所浜名湖分場 053-592-0139